

## 陸前高田発

### モザイクアート完成

陸前高田市の「奇跡の一本松」のすぐ側に、一本松をモデルにしたモザイクアート作品が完成しました。デザインの基は「奇跡の一本松」の保



存活動を支援していた漫画家のやなせたかしさんのイラストです。縦2メートル、横およそ3メートルの作品は、大理石やガラスなど数種類のタイルを使って創られていて、障害者就労支援施設「あすなるホーム」の利用者たちが制作にあたりました。市ではモザイクアートが新たな名物となるとともに、障害者や高齢者に優しい街をアピールするきっかけになればと期待しています。(3/5 ニュースエコー)

## 盛岡発

### 「たかたのゆめ」販売



陸前高田市の農業復興のシンボルともいえるオリジナルブランド米『たかたのゆめ』を多くの人たちに味わってもらおうと、県内の主

なJRの駅で販売が始まりました。『たかたのゆめ』の販売は陸前高田市の復興を後押ししようとJR東日本が行ったもので、おにぎりはもちりとした食感が特徴です。駅では『たかたのゆめ』を使ったちらしずしなどの弁当も販売されています。『たかたのゆめ』は盛岡駅など県内6つの駅で販売され、なくなり次第終了となります(3/7 ニュース)

## 宮古発

### 「山田線復旧工事」着工

震災による津波で被災し運休が続いていたJR山田線、宮古～釜石間の復旧工事が着工しました。JR山田線の宮古・釜石間は既に復旧している三陸鉄道北リアス線と南リアス線に挟まれた区間で、JRが復旧費用を負担した上で完成後は三陸鉄道が運営することで合意しています。復旧工事の完成時期



については未定ですが、まずは来年開かれる岩手国体に合わせ一部区間の開通を目指すことにしています。(3/7 ニュース)

## 忘れない「3.11」

### 県内各地で鎮魂の祈り



東日本大震災から4年。沿岸北部の野田村では県と村の「合同追悼式」が行われ、犠牲者に追悼の祈りを捧げました。県と沿岸自治体が合同で開催する追悼式は、2012年の陸前高田市を皮切りに大槌町・山田町と会場を北に移し、今年は、野田村での開催となりました。野田村では、関連死を含め39人が犠牲となり、500棟を超える家屋が全半壊するなど、久慈地域で最も大きな被害を受けました。式には達増知事を始め、国や県、村内の被災者の人達など500人余りが参列しました。達増知事が追悼の式辞を述べ、これに続き遺族を代表して野田村の遺族会・会長広内実さんが挨拶しました。その後、参列者全員が献花台に花を手向けて静かに手を合わせ、震災犠牲者に祈りを捧げました。また、地震が発生した午後2時46分に合わせて、県内各地で黙祷が奉げられました。(3/11 ニュースエコー)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
 詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>  
 IBC復興支援室事務局 019-623-3122